

うまこしゆうせい
馬越裕正 議員

地球の温暖化

激化する気象災害 今こそ、地球環境問題を、笠岡で

議員 笠岡市の環境問題に対する基本的な考え方と施策全般についてたずねる。

市民生活部長 平成15年に笠岡市環境基本条例を制定し、現在は第2次笠岡市環境基本計画後期計画を策定し、5つの環境分野について取り組んでいる。

議員 災害時の対策としても有効な蓄電池、電気自動車等の補助制度についてたずねる。

市民生活部長 電気自動車等の購入は、現在の補助制度を活用してほしい。蓄電池については、本市の補助制度の見直しを行っていく中で検討していく。

議員 全国的にレジ袋の有料化が

検討されているが、笠岡市の考えをたずねる。

市民生活部長 引き続きマイバツグの利用促進等の市民啓発の取り組みを継続していく。

教育部長 環境の啓発にカブニくんの家族での広報を検討中である。

議員 環境問題は、今までは総合学習で、今後は地域学でされるが、積極的に地球環境問題を教育していただきたいが、いかがか。

教育長 この4月、主体的、対話的な深い学びに学び方が変わる。より課題解決的な学びを構成すること、発展的に授業で取り扱い、各学校において実践されて進化していくものと考えている。

いぎ まもる
井木 守 議員

住宅リフォーム助成、上限を 20万円に戻し、さらに拡充を！

議員 住宅リフォーム助成制度は、市民に支持され、平均で年間約5億円が市内の建設業者を中心に回っている。なぜ、上限を15万円に減額したのか。

市長 厳しい財政状況の中、補助金等の見直しを行う中で決定した。

議員 市民から見れば、行政サービスが低下しただけ。元の上限20万円に戻すべきではないか。

建設部長 上限額変更後も、申請数に大きな変化は今のところない。影響を今しばらく確認した上で検討したい。

議員 井原市のように店舗等のリフォーム助成制度をつくり、商工業者を支援すべきではないか。



産業部長 市としても分析しながら研究したい。

奨学金の返還支援制度をつくり、 若者のUターン促進を！

議員 県立4校、私立1校という高校の配置は、市の活性化の資源だ。少子化の中でも高校の維持は重要で、地元就職率の高い学校が規模縮小等されると、市の人口がさらに流出してしまう。

市長 地元の専門高校2校を維持するよう、色々な支援策を打っていききたい。

議員 大学等卒業後、地元でUターンした学生の奨学金返還を支援している自治体がある。笠岡市も参考にしようか

市長 人材確保という意味でも大事になる。前向きに検討したい。